



**NVNネットワーク講演会**  
2024/5/26

令和6年能登半島地震の現場から  
-復旧期の今求められること-

ごちゃまるクリニック院長 小浦友行

1

## 自己紹介

- 小浦友行 ごちゃまるクリニック 院長
- 石川県 輪島市 **朝市通り出身**

**【略歴】**

2005：富山医科薬科大学卒業  
 2007：富山大学附属病院 総合診療部  
 2012：富山大学附属病院 災害・救命センター  
 2014：富山大学医学部 富山プライマリ・ケア講座  
 2017：公立穴水総合病院 臨床研修センター  
 2021：奥能登ごちゃまるクリニック  
 2022：ごちゃまるクリニック

**【資格】**

日本プライマリ・ケア連合学会 認定指導医  
 日本専門医機構 総合診療医  
 日本内科学会 総合内科専門医  
 日本内科学会 JMECCインストラクター  
 日本医師会 認定産業医  
 石川県認知症サポート医

**独立開業1年程の 新人院長**

2

## 自己紹介

- 8人家族（祖母は現在二次避難中）
- 妻は小児科医（産婦人科も少々）




3

## ごちゃまるクリニック

### Patient-Centered Medical Home : PCMH

日老医誌 2017;54:499-506

- 外来ケア：妊産婦、乳児～高齢者
- 地域ケア：社会的処方箋活動
- **在宅ケア**：訪問診療（在支診）、訪問看護、訪問リハ





4

# NPO法人 じっくらあと

- ・生きづらさをかかえる子へのアウトリーチ
- ・わじまティーンラボ

相談事業、居場所づくり、つながりづくり

5

6

7

## 能登北部、輪島市について

	人口	高齢化率	年少人口
輪島市	24,032	47.0	1,551
珠洲市	12,801	52.2	936
能登町	15,337	51.3	1,154
穴水町	7,670	50.6	553

(R2.10.1)

輪島市面積：426.3km<sup>2</sup> (県内3位)  
 公立病院数：1 (市立輪島病院)  
 診療所数：26 (うち公立6、在支診2)  
 訪問看護事業所数：4 (うちステーション2)

**高い高齢化率の広いエリアを、少ない在宅資源で担っている**

8

## 世界農業遺産「能登の里山里海」

**春**



**夏**



**秋**



**冬**



「世界農業遺産  
能登の里山里海」  
それは  
能登の暮らしそのもの。

**優れた里山景観**  
日本海に面した急傾斜地に広がる棚田や「間田」と呼ばれる竹の垣根、茅葺きや白壁・黒瓦の家並みなどが広がっています。

**伝えたい伝統的な技術**  
日本で能登に唯一残る「掛け浜式」と呼ばれる製塩法や、「輪島塗」といった伝統工芸、「炭焼き」などの伝統的な技術が継承されています。

**伝統的な農林漁法と土地利用**  
稲のはざし(天日干し)や高女漁などの伝統的な農林漁法が継承されています。また、平家取えりやめしらが有名で、棚田には多くの棚田が見られます。

**文化・祭礼**  
ユネスコ無形文化遺産に登録された「あえのこと」をはじめ、農林水産業と結び付いた文化・祭礼が伝承されています。

**多様な生物資源**  
希少種を含むたくさんの生きものが生息・生育しています。また、「能登野郎」などの在来品種の栽培の復興がはかられています。

**里山里海の利用保全活動**  
棚田のオーナー制度や農家民宿、農林水産物のブランド化、行徳と大学が連携した人材育成などが進められています。



農林水産省HPより

9

## 令和6年能登半島地震



震源

当院



焼け野原の輪島本町朝市通り



全壊家屋の横を通学



近年の地震と能登群発地震

1995.1	阪神淡路大震災	M7.3
2007.3	能登半島地震	M6.9
2011.3	東日本大震災	<b>M9.1</b>
2016.4	熊本地震	M7.3
2023.5	奥能登地震	M6.5
2024.1	R6能登半島地震	<b>M7.6</b>

頻回  
かつ  
甚大

時刻：1月1日16時10分  
規模：M7.6  
死者：241名（災害関連死15名）

10

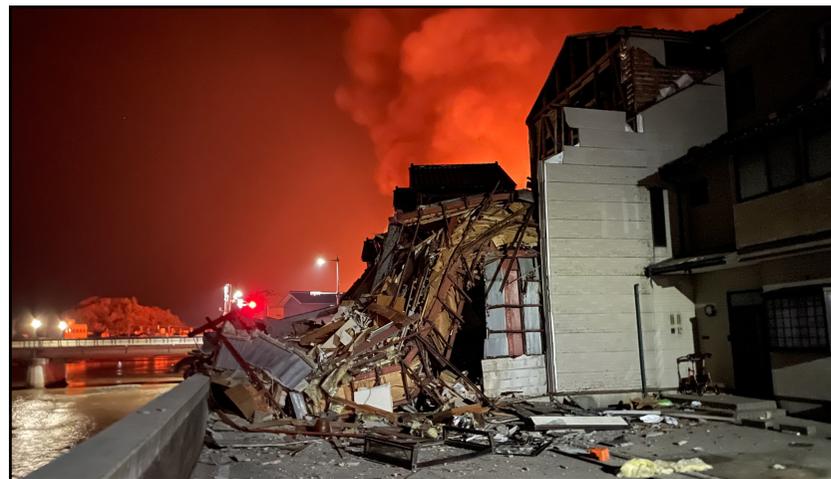
小浦 友行  
1月1日 · 🌤️

生きてます。街は壊滅状態です。

👍🥲🙏 渡辺 史子、三浦 太郎、他129人 52




11



12

## 発災1週間



13

## 在宅ケアの再開

訪問診療・往診再開



14

## 被災地対応オンライン診療

NTTドコモ、能登半島地震被災地域でオンライン診療による地域医療再生支援



15

## 医療コンテナの設置



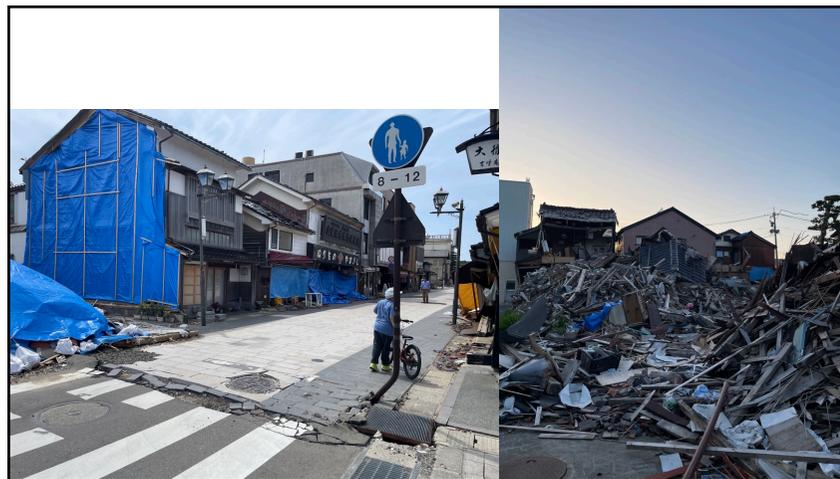
16



17



18



19

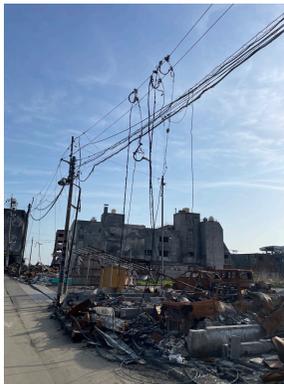


20

## 外来にて

84歳 能登太郎さん

かつて朝市通りにあった自宅は全焼  
現在は仮設住宅で妻と二人暮らし  
かつてのご近所さんとは離れ離れ  
ボースカウトや謡（うたい）などが趣味



21

## 外来にて

もし望みが叶うなら、という質問に対して  
「そりゃあちこち行きたいね。窓岩とかね。  
車はあるけど道も悪いし、行ったら行ったでどんな  
ひどいことになっとるかかわらんし。  
考えたらもうあちこち行くのも面倒になって。  
前は歩いて朝市行って、松生さん行って、そんで知っとる  
人としゃべってはね。思えばあんなことが大切やったね。  
趣味を再開しようにも文化会館も入れんなったし。」

22

## お茶会にて

38歳 里山花子さん

夫と10歳の長男と避難所生活

「避難所にいると本を読む機会がないですね。  
図書館も使えないし。  
子供には本でも読ませてあげれば  
ゲームばかりにならなくてよいのかも。」

23

## お茶会にて

「公園で遊ばせたいけどそこも全部仮設住宅になってるし。  
今後どうなるんですかね。  
小学校もいつの間にか廃校に  
なるんでしょうか。  
ちょっとさみしいですよ。」



24

## 避難所の一角にて

91歳 波野春子さん 他2人のおばさまと  
 「避難所の中もね、変な人ばかりになりましたよ。  
 ずっとお酒飲んでる人、壁に喚いている人、  
 注意してもでかい声出すだけやし。  
 早く仮設入りたいんやけどね。まだお声がかからんね。  
 もううんざりするわ。」  
 といっている側から酒飲みのおじさんが笑って  
 井戸端会議に入ってくる  
 「あんたたち、ちゃんと先生にみてもらわないかんげぞ笑」

25

## 仮設住宅にて

50歳 港義夫さん  
 自宅は半壊、同居の父は震災直後に脳梗塞で入院  
 震災一ヶ月頃に訪問診療開始  
 アルコール肝硬変でかつては命に関わるほど不安定  
 一時入院していたがタバコがやめられず  
 病院側と喧嘩して歩くのもやっとの状態で半壊の自宅へ退院  
 訪問診療、訪問看護を継続して現在は体調が回復  
 避難所、仮設避難所を経て仮設住宅へ

26

## 仮設住宅にて

入居間もないとある診察日  
 「最初は心配やったけど大丈夫そう。  
 最初は死んでもおかしなかったからね。  
 先生達のおかげでここまで元気になったし、  
 せっかくなら今度は働くのが目標やわ。  
 仮説の近所の人の面倒みてもいいし、子供の面倒もみるよ」

27

## 仮設住宅にて

「実は俺、自身の後、潰れた家に戻って首吊ろうかな、って  
 何回も死のうかな、って思ってん。何も希望もなかったし。  
 先生とか、ごちゃまるのみんなに出会ってなかったら  
 ここまでこれんかった…  
 病院嫌いやし、医者も信じられんかったし、でも先生とか  
 浦くんやったら信じれたわ。ありがとう。」

28

## 今求められること

- ・令和6年能登半島地震発生から5ヶ月が過ぎようとしている
- ・大変残念ながら、倒壊家屋だらけの街並みは変わらない
- ・水道などのインフラも宅内配管やエコキュートの故障などの問題で、未だ通水せず、風呂にも入れない自宅もある
- ・避難所は8月いっぱいの閉鎖を目標に段階的に集約化
- ・そのため追い出されるような気持ちで移動する住民も多い

29

## 今求められること

- ・仮設住宅に入居したとしても、かつて過ごしていた当たり前の日々は戻ってこない。
- ・いつものお店、いつものご近所、いつもの趣味・娯楽。
- ・この当たり前のルーチンがいかにかの個人形成にとって重要であったか、失った今は心より実感できる。
- ・避難所では未だ炊き出しも不安定な避難所もある。
- ・避難所の炊き出しも残飯が増えているという。みな辛くなっている。ただ与えられるのみの生活が。自ら買い物し、調理し、好きなものを好きなだけ食べたい。

30

## 今求められること

- ・震災支援の中で愚行権という言葉を知った。避難所生活の中で失われがちな大切な権利。楽しくてついはめを外して二日酔いになる権利。不合理な行動であるがそれこそが人の営み。
- ・その一方で避難所で孤独に密かに増える酒量もある。果たしてそれは個人の自由か、それとも余儀ない行動か。

31

## 今求められること

- ・東日本大震災で訪れた石巻で住民に言われた。「あなたはここにきた。支援のために。ならこれからも来続けなければいけない。それが義務ですよ。」脅迫まがいの話だ、と絶句した。
- ・でも今はわかる。あの人は忘れられなくなかったのだろう。被災下で生きる私にとっても同じこと。忘れ去られるのが怖い、熱が冷めるのが怖い…

32

## 今求められること

- ・支援のみなさんとは本当に濃密に過ごすことがあった。その度に感情移入してしまう。
- ・また会いに来てほしい。忘れないでほしい。
- ・震災支援は普遍的な備品支援が一般的だが、それが必要なところもまだあろう。
- ・でも現実に最も期待したいのは個別化された支援だ。その人が求める支援を、その人が負担にならないように、そんな個別性を理解してもらえることは何よりうれしい。

33

## 今求められること

- ・支援のみなさんとは本当に濃密に過ごすことがあった。その度に感情移入してしまう。
- ・また会いに来てほしい。忘れないでほしい。
- ・震災支援は普遍的な備品支援が一般的だが、それが必要なところもまだあろう。
- ・でも現実に最も期待したいのは個別化された支援だ。その人が求める支援を、その人が負担にならないように、そんな個別性を理解してもらえることは何よりうれしい。

34